



大学院だより



修了式を終え充実感で一杯の大学院修了者。矢崎同窓会長および大学院関係者と共に

大学院修了式

平成27年3月15日（日）に第5回大学院修了式が、120期生卒業証書授与式と合同で行われた。昨年に続き新館血脇記念ホールでの実施となり、堂々とした大学院生の姿は、学生やご父兄にとっても印象深いものとなったことでしょう。修了式では代表として歯周病学講座の今村健太郎大学院生に田崎雅和大学院研究科長から修了証が授与された。その後、新館11階教室に移動し、一人ひとりに修了証が授与され、矢崎秀昭同窓会長から、同窓会長賞が授与された。



東 俊文教務部長の呼名により入場



代表で修了証を授与される今村健太郎 大学院生



田崎大学院研究科長より修了証を授与される
吉田香織大学院生



同窓会長賞を受賞した加藤 宏大学院生



矢崎同窓会長より同窓会長賞を授与される
今村健太郎大学院生



田崎研究科長より最後の訓示

大学院修了に際し思うこと

大学院 4 年（歯周病学講座）
今村健太郎

大学院修了にあたり、改めてこの4年間を振り返ってみると、人生のなかで最も濃密な時間を過ごせたと感じています。学部学生時代の詰め込み型の暗記に頼る勉強や、国家試験に向けた5択試験から逃れ、自分の興味あるテーマに向かって、研究を進めることができ、自ら学ぶ楽しみを見出しました。勿論楽しいばかりの日々ではありませんでした。“途中で辞めること”が最も嫌いな自分でさえ、リタイアの文字が頭をよぎることがありました。今となっては、あの時ドロップアウトし

なくて本当に良かったと思っています。後輩大学院生の皆にも、やり遂げる達成感やそこで得られるものを考え、最後まで続けて乗り越えてもらいたいと思います。在学中、研究成果をアメリカ歯周病学会やUniversity at Buffalo Oral Biologyのシンポジウムで発表しました。また、Elective Studyではカリフォルニア・イノベーション研修にも参加させていただくことができました。多くの海外経験を通し留学への思いも膨らみ続けています。

この4年間、研究以外にも臨床をはじめ学生会など様々な活動にも取り組んできました。それら

を評価していただき、思いがけず同窓会長賞を受賞することができました。

ありきたりな言葉になってしまいますが、自分一人の力では、4年間で論文を書き上げ無事に大学院を修了することはできませんでした。何もわかっていなかった自分に、研究のいろはを徹底的に直接叩き込んで下さった齋藤教授、講座の先輩方、苦難を共に乗り越えてきた同期、実験の準備や手伝いを率先して行ってくれた後輩たち、そして色々な面で支えてくれた家族、挙げればきりがありません。修了式では、多くの方々にお祝いの言葉をいただきましたが、その何倍もの感謝のこぼれを返したいと思います。また、明日からの研究・臨床・教育に精進することで恩返しをしていきたいと思っています。

まだまだ、研究者・歯科医師として未熟であり、東京歯科大学で、ましてや世界でリーダーシップをとり活躍できる力は持ち合わせていませんが、最高学府である大学院を修了したことを誇りとし、努力をしていこうと決意を新たにしています。最後になりましたが、これまで御指導してくださいました井出学長や田崎研究科長をはじめとする先生方、職員の皆様に対し、厚く御礼を申し上げます。



同窓会長賞を受賞した今村大学院生と加藤大学院生

大学院修了にあたって

大学院4年（口腔外科学講座）
加藤 宏

本年度をもって東京歯科大学大学院歯学研究科を修了となり、お世話になりました皆様方への感謝の気持ち、また、やり遂げたという達成感で心は満たされております。

私は平成23年4月に大学院に進学しました。入局にあたり、主任教授でおられます柴原教授に「口腔外科学講座は臨床・研究・教育の概念を根底とする。どれもおざなりにしないように。」と伝えられました。つまり、優れた臨床医であるとともに、科学者としての思考を持ち、学生教育にも尽力することが我々の至上命題であり、大学院4年間という期間はそれらに全精力を費やしたといっても過言ではありません。日々の職務に全うし、精神的・肉体的にも辛いときもありましたが、支えあった仲間たち、ご指導いただいた諸先輩方、頼りになる後輩たち、多くの方に支えていただけたからこそ無事に博士課程を修了できたと思います。

研究面においては、生化学講座でiPS細胞を用いた骨再生プロジェクトに参加させていただきました。思うような結果が出ずに苦悩することもありましたが、東教授をはじめ生化学講座の諸先生方に叱咤激励され、研究に邁進することができました。自身の研究結果を学位論文としてOpen Biologyへ投稿し、受理されております。基礎研究を専門とする先生方と研究をともに行うことで自身のリサーチマインドを育むことができた点が、なによりの収穫だと感じております。

本学大学院での経験を生かして、今後の歯学の発展を担う世界レベルでの歯科医師かつ研究者になるよう、臨床におけるスキルアップはもちろんのこと、臨床にフィードバックできるトランスレーショナルリサーチを念頭に研究にも取り組んでいく所存であります。

最後になりましたが、大学院を卒業するにあたり多くのご指導をいただきました柴原教授、東教授、ならびに貴重なご意見をいただきました多くの方々から厚く御礼申し上げます。

大学院修了式 懇親会開催



お世話になった先生方と

懇親会を振り返って

大学院4年（歯科保存学講座） 月野和 隆

平成27年3月15日（日）午後1時より、水道橋校舎本館14階大会議室において、大学院歯学研究科修了式懇親会が開催されました。謝恩の意を込めてこれまでご指導頂いた先生方をお招きし、なごやかな雰囲気の中執り行われました。

大学院学生副会長の月野和 隆が司会を務め、井出吉信学長のご挨拶で開会となりました。続いて田崎雅和大学院研究科長からご挨拶を頂戴した後、東俊文大学院教務部長からご挨拶、齋藤淳大学院学生部長から乾杯のご発声を頂きました。大学院課程を修了した大学院生は、本学の助教やレジデント、ポストドクトラル・フェローとなる者、他大学や歯科医院勤務となる者など進路は様々ですが、4年間の大学院生活を振り返りながら、改めてご指導頂いた先生方との懇親を深めました。

そして最後に、大学院学生会長の今村 健太郎（歯周病学講座）の挨拶をもって閉会となりました。この挨拶を聞きながら、4年間という貴重な時間を臨床のみならず、研究センターに過ごせたことを誇りに思い、今後は世界でリーダーシップをとる研究者、歯科医師、そして教育者として活躍できるよう修了者一同心に誓いました。



井出学長のご挨拶





学位論文題名 (平成 26 年度)

	学位記番号	氏名	学位論文題名
1	2070 号 (甲 1289 号)	村 上 正 治	The Relationship between chewing ability and sarcopenia in Japanese community-dwelling elderly
2	2077 号 (甲 1290 号)	矢 島 由 香	The protective effects of 2,3-Dimercapto-1-propanesulfonic acid (DMPS) against cisplatin (CDDP)-induced degradation of renal function
3	2078 号 (甲 1291 号)	今 村 健太郎	Cigarette smoke condensate modulates migration of human gingival epithelial cells and their interactions with <i>Porphyromonas gingivalis</i>
4	2079 号 (甲 1292 号)	武 田 侑 大	The effect of concentrated growth factor on rat bone marrow cells <i>in vitro</i> and on <i>in vivo</i> calvarial bone healing
5	2080 号 (甲 1293 号)	備前島 崇 浩	Fibroblast growth factor-2 promotes healing of periodontal defects in streptozotocin-induced diabetic rats via increasing cell proliferation and regulating angiogenesis
6	2081 号 (甲 1294 号)	山 根 茂 樹	Effect of mesenchymal cells to rabbit oral epithelial-mesenchymal-muscular hybrid sheets
7	2082 号 (甲 1295 号)	小 林 史 卓	The proliferation and differentiation of stem cells and myoepithelial cells of injured rat submandibular glands are accelerated by collagen gel with bFGF
8	2083 号 (甲 1296 号)	川 口 綾	P2Y ₁₂ and bradykinin B ₂ receptor activation attenuates cAMP-mediated inhibitory effects on intracellular Ca ²⁺ release via ryanodine receptor channels in trigeminal ganglion neurons
9	2084 号 (甲 1297 号)	吉 田 香 織	Prediction formulas for individual opioid analgesic requirements based on genetic polymorphism analyses
10	2085 号 (甲 1298 号)	月野和 隆	Wnt regulatory molecules coordinately regulate osteoblast differentiation
11	2086 号 (甲 1299 号)	岡 本 聡 太	Effects of volatile anesthetics on oral tissue blood flow: A comparison among isoflurane, sevoflurane and desflurane
12	2087 号 (甲 1300 号)	和 田 健	Application of zirconia to palatal plate of removable denture -Evaluation of subjective comfort and taste threshold with zirconia plate-
13	2088 号 (甲 1301 号)	加 藤 宏	Promoting effect of 1,25(OH) ₂ vitamin D ₃ on osteogenic differentiation of iPS-derived osteoprogenitors into osteocyte like cells
14	2089 号 (甲 1302 号)	喜 田 大 智	A type IX secretion system is involved in gliding motility and biofilm formation of <i>Capnocytophaga ochracea</i>
15	2090 号 (甲 1303 号)	若 杉 由美子	A comparison of blood loss in remifentanil-based anesthesia with sevoflurane or isoflurane during orthognathic surgery

	学位記番号	氏名	学位論文題名
16	2091号 (甲1304号)	荻野崇真	Effects of chewing rate and reactive hyperemia on blood flow of denture-supporting mucosa during simulated chewing
17	2092号 (甲1305号)	小泉ちあき	N-acetyl-L-cysteine prevents bacteria-induced hypersecretion of gel-forming mucin from human bronchiolar epithelial cells
18	2093号 (甲1306号)	福田真之	Three-dimensional analysis of incisive canals in human dentulous and edentulous maxillary bones
19	2094号 (甲1307号)	太田緑	Effect of Chewing or Levigating Food on Autonomic Nervous Activity in Older Adults
20	2095号 (甲1308号)	梅澤朋子	Antimicrobial effect of water containing organic acids on biofilm on tooth surface
21	2096号 (甲1309号)	西村逸郎	Effect of Osteogenic Differentiation Medium on Proliferation and Differentiation of Human Mesenchymal Stem Cells in Three-dimensional Culture with Radial Flow Bioreactor
22	2097号 (甲1310号)	本田至史	Comparison of psychological backgrounds between acute and chronic orofacial pain patients
23	2098号 (甲1311号)	惣卜友裕	Effects of differences in bracket prescription on orthodontic treatment outcomes measured by three-dimensional scanning
24	2099号 (甲1312号)	平野友基	Proliferation and osteogenic differentiation of human mesenchymal stem cells on zirconia and titanium with different surface topography
25	2100号 (甲1313号)	白井亮	Antimicrobial effect of UV-irradiated TiO ₂ on a periodontal pathogen <i>Porphyromonas gingivalis</i>
26	2101号 (甲1314号)	鈴木大貴	Experimental study of Bethesda system for Oral Liquid Based Cytology
27	2102号 (甲1315号)	森川泰紀	Dental pulp cells promote the expression of RANKL, IL-6, PGE ₂ and SP in mechanically stressed periodontal ligament cells
28	2103号 (甲1316号)	林幸央	Transplantation of human induced pluripotent stem cells carried by self-assembling peptide nanofiber hydrogel improves bone regeneration in rat calvarial bone defects
29	2104号 (甲1317号)	岩田優行	Alignment of Biological Apatite Crystallites in Posterior Cortical Bone of Human Edentulous Mandible
30	2105号 (甲1318号)	吉田光孝	Capturing EpCAM-positive exosomes on solid surface by peptide aptamer

	学位記番号	氏名	学位論文題名
31	2106号 (甲1319号)	大平貴士	Effect of Locally Applied Fluvastatin in Low-turnover Osteoporosis Model Mouse with Femur Bone Defect
32	2107号 (甲1320号)	井口直彦	Histamine regulates IFN- γ production from T cells in palladium allergy mice model
33	2108号 (甲1321号)	松田裕也	Comparison of surface morphology and healing in rat calvaria bone defect between ultrasonic surgical method and rotary cutting method
34	2109号 (甲1322号)	小郷直之	The three-dimensional analysis and evaluation of orthognathic surgical cases with facial asymmetry
35	2110号 (甲1323号)	重政理香	下顎後退症患者において顎矯正手術が日本語子音に及ぼす影響について
36	2111号 (甲1324号)	廣田雅幸	Comparative study of mandible ramus morphology using three-dimensional CT in sagittal split ramus osteotomy
37	2112号 (甲1325号)	逢坂竜太	Evaluation of infiltrative growth pattern in squamous cell carcinoma of the tongue: Comparison with Yamamoto-Kohama classification

※題名は、学位論文審査時のもの

編集後記

大学院だより 12 号は修了式を特集いたしました。今回は水道橋への移転後、2 回目の修了式でした。学生部長の佐藤 亨教授をはじめ関係各位のきめ細やかなご配慮により、滞りなく式を終了することができ、大学院関係者一同、安堵しております。修了生たちは未来に向けて決意を新たにしていることと思います。これからも東京歯科大学そして歯科医学の発展のため、そして自らの可能性を切り拓くために一人ひとりが力を発揮してくれることを願っています。

(齋藤 記)

